

# 社会福祉法人 志津保育園

日時：2023年2月8日（水）9:00-16:30

場所：滋賀県草津市青地町 946

住宅地を通り抜けた先に、豊かな自然に囲まれた社会福祉法人志津保育園があります。今回は、園庭に隣接する山の斜面を活用して研修を行いました。山の斜面を生かした自然保育を通して、斜面ならではの遊び方を知ることができました。

肌寒い1日でも、体を動かしながらできる自然体験型環境学習をしました。

公開保育、座学、自然体験型環境学習の体験と振り返りを行いました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

## 五感を使って自然を感じてみよう！

まず始めに、牛乳パックにどんぐりを入れてから振ると、どんな音がするのか耳を澄ませます。どんぐりの数によって音の違いを聞き分けるゲームをしました。

次に、遊具と木を触って、温度の違いを感じました。遊具よりも木の方が温かく、木の種類によっても温かさが異なることから、木も人間と同じように呼吸をし、成長して生きているのだということに気づきます。



どんぐりの数が多いほど音が大きくなる！今回はいくつどんぐりが入っているかな？

遊具と木の温度を触って比べてみよう！木の種類や大きさによっても温かさが違うことに気づきました！



木の根っこがあるところはどうしたらいいかな？深く掘ったらボールが道を外れなくなるかも！

グループの友達と相談しながら、ボールの道を決めていきます！



## 斜面を使ってボールの道を作ろう！

3グループに分かれて1人1つスコップを持ち、斜面の上から下にボールを転がす道を作ります。

グループの友達と相談しながら木の根っこや草を避けて通るルートを決めて、みんなで協力してボールの道を作ることができました。斜面ならではの遊びを、自然物を使って楽しむことができます。参観に来ていた保護者も一緒に参加し、園児たちを補助しながらルート作りを楽しみました。

## 講義

午後からは講義を行いました。自然の中で実験し、気付いたことが学びになることなどについて説明しました。その後午前中の公開保育の様子について解説と感想を共有しました。また、今回の内容を踏まえた今後の保育についてグループに分かれて話し合い、それぞれの意見を発表しました。



### 指導者育成実践学習会の内容について参加者の感想

- 伝えたいこと、目的をもって保育をすることが大切だとわかった
- 葉っぱの匂いや形だけでも十分楽しむことができる
- 指導者の発信の仕方、導入の仕方が大切である
- 自然の場所に行くだけで満足していた
- 自然と関わる方法を知ることができた
- 外に行かなくても、園庭にはたくさんの自然があることに気づけた

### 今後自然体験型環境学習を進めていくには？

- 子供たちに集中してもらうためには、まず興味をもってもらうことが大切
- 木に触れて温度を感じてみるという発想がなかったので、違う季節でもやってみたい
- 大人の感覚とは違うから、子供たちの目線で考えてみる大切
- 自然がある場所に行くだけで満足せず、自然の物で遊んでみる

### ボールの道をパワーアップさせよう！

午前の公開保育で園児たちが行ったボールの道作りに挑戦しました。園児たちがルート作りで苦戦していた木の根っこがある部分や草が生えている部分に、木の皮を敷いたり土を盛って壁を作るなど知恵を絞り合いながら、スムーズにボールが転がるように工夫しました。

自然を使った体験は、子どもも大人も夢中になって取り組めることがわかりました。



ボールが道を外れないように、深く掘ってみよう！

ボールが止まってしまう場所には木の皮を敷いて、滑りやすくなるようにしよう！

